

主題 『どうつきあう？無料通話アプリ』

副題 ～文字コミュニケーションの便利さと怖さ～

さいたま市立仲町小学校

1. ねらい

近年、子どもたちのメディア環境も大きく変化が生じており、スマートフォン等の長時間使用による生活習慣の乱れや不適切や利用による青少年の犯罪被害、さらにプライバシーの問題等につながるケースが増えている。

本学級(6年生)では、自分専用の携帯電話を所有している児童が75%、うち25%がスマートフォンであった。また、9割を超える児童がインターネット利用経験をもち、中にはSNS(Face Book・Twitter等)や無料通話アプリケーション(LINE等)を利用している児童もいた。利用制限を付加したり、家庭内でルールを設けたりするなど、利用に際して注意を払っているようであるが、ネット世界への入り口は子どもたちのすぐ手の届くところにあり、正しい知識と的確な判断力を育む指導の必要性を強く感じた。

本学習では、現代世代を問わず大流行している無料通話アプリケーション(以下「アプリ」と略す)をめぐる実話をもとにした映像教材を用いながら、子どもたち自身にも起こりうることとして、トラブルの回避策や情報化社会への向き合い方を考えることができるように指導していく。

2. 指導計画

- (1) 自分専用の携帯電話・スマートフォンの所有、インターネット利用経験の確認。スマートフォン・SNSの基礎知識を学ぶ。
- (2) 映像教材視聴(「リアルスマホストーリー」)。
- (3) 無料通話アプリによるトラブルのケーススタディ。
- (4) 「ネット上のコミュニケーション」についての話し合い。学習のまとめ。



3. 授業実践例

- (1) インターネット端末所有の実態、基礎知識の確認。
 - ・自分専用の携帯電話やインターネット端末(音楽プレーヤー・ゲーム機等)の有無、利用経験の実態を知るとともに、スマートフォンやSNSの利便性と危険性について確認する。
- (2) スマートフォンによる無料通話アプリでのコミュニケーションの実態を学ぶ。
 - ・【NHK番組『リアルスマホストーリー』～たった一言のちがいが...～(NHK for schoolよりネット視聴が可能)】を活用し、無料通話アプリを使ったコミュニケーションで実際に起きたトラブルを小学生の事例から学ぶ。
- (3) 無料通話アプリによるトラブルのケーススタディ
 - ・同番組の事例を基に、今実際に起きているSNSに起因する事件・事故の実態を学ぶとともに、ネット社会との向き合い方や今後気を付けなければいけないことについて話し合う。



(4) ネット上のコミュニケーションのあり方について。

【活動のまとめ】

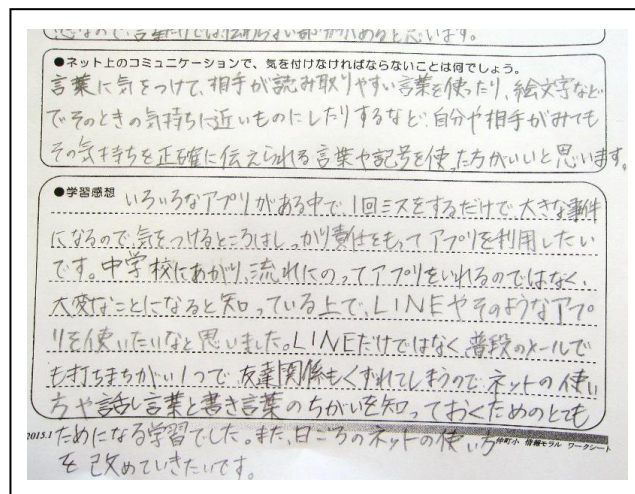
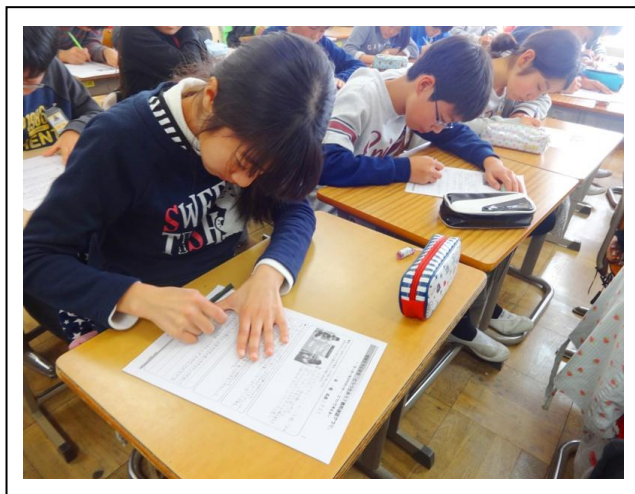
- ① 本当に必要なコミュニケーションなのかを考える(直接会って話せないの?)。
- ② 「既読」や「返信」にとらわれすぎない。
- ③ 書き言葉と話し言葉の違いに気を付ける。
(【?】マーク一つで意味が全く変わる)
- ④ 人が傷つくことや悪口は絶対に書かない。
(グループトークはいじめに発展しかねない)
- ⑤ 家族で利用ルールを決めて使うようにする。
- ⑥ 何かあったら、大人に相談する。



(5) 本時の学習感想を書く

4. 児童の学習感想

- ・LINEなどのアプリは、うまく付き合えばとても便利なものだけれど、使い方を間違えると恐ろしいものになってしまうということがよくわかりました。
- ・今日学んだことを生かして、スマホを上手く活用していくことが大切だと思いました。でも、できるだけリアルなコミュニケーションをきちんととっていける力を養っていきたいと思いました。
- ・気軽に使えてすごく便利なのにいろいろなトラブルが起きてしまうのは、使い方が間違っているからだと思います。正しい使い方ルールを守りながら、自分でトラブルを防げるようにしたいです。今回の学習を今後の生活に生かしていきたいと思います。
- ・この授業を受ける前は、スマホが欲しいと思っていました。でも学習を通して、あまり欲しいと思わなくなりました。今、スマホがなくても普通に友達と楽しく過ごせるからです。



5. 成果と今後の課題

今回の学習では、小学生の間で起きた事例を通して、インターネット利用のあり方、特に今後子どもたちが利用するであろう無料通話アプリやSNS (Social Networking Service) の落とし穴を正しく理解することができた。スマートフォンや無料通話アプリは、正しい知識をもち、正しく利用すれば便利なツールであるが、ただ便利だからといって安易に利用すると思わぬトラブルに巻き込まれる可能性もある。管理者がいない(監視されていない)LINE等のコミュニケーションの実態に子どもたちは驚いていた。ルールを決め、大人と相談しながら、インターネット端末を利用していこうとする意識を醸成することができたと考える。

学習を通して、「学校で毎日会う友達と、毎日夜遅くまでコミュニケーションをとる必要があるのか」や「本当に伝えたことは直接話したほうが良い」など、子どもたちから健全な意見がたくさん出てきた。こうした価値観や正しい判断力を養う指導を今後も継続的に実践していきたい。